

食品に関するリスクコミュニケーション「放射性物質と食品の安全性について（北海道旭川）」
参加者アンケート集計結果

参加者数	:	107
アンケート回収数	:	78

あなたご自身のことについてお聞かせください。

①性別

回答内容	件数	割合
男性	17	21.8%
女性	61	78.2%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%

②年齢

回答内容	件数	割合
20歳未満	0	0.0%
20歳代	4	5.1%
30歳代	9	11.5%
40歳代	5	6.4%
50歳代	13	16.7%
60歳代	32	41.0%
70歳代以上	14	17.9%
無回答	1	1.3%
計	78	100.0%

③職業（立場）

回答内容	件数	割合
①消費者団体	31	39.7%
②主婦・学生・無職	25	32.1%
③生産者	0	0.0%
④食品関連事業者・団体	3	3.8%
⑤マスコミ	0	0.0%
⑥行政（自治体職員，独法職員）	16	20.5%
⑦食品関連研究・教育機関	0	0.0%
⑧その他	3	3.8%
無回答	0	0.0%
計	78	100.0%

④意見交換会情報入手手段

回答内容	件数	割合
自治体からのご案内資料	23	29.5%
関係者からのご案内資料	43	55.1%
知人からの紹介	1	1.3%
その他	10	12.8%
無回答	1	1.3%
計	78	100.0%

⑤「100%安全な食品はないこと」について、どう思われますか？

回答内容	件数	割合
強く思う	37	47.4%
やや思う	30	38.5%
あまりそう思わない	4	5.1%
全くそう思わない	1	1.3%
わからない	2	2.6%
無回答	4	5.1%
計	78	100.0%

問2. 本日の意見交換会について

①意見交換会に参加した目的

回答内容	件数	割合
①放射性物質と食品の安全性について理解を深めたかったから	45	57.7%
②食品中に含まれる放射性物質について自分の意見や考えを話したかったから	1	1.3%
③他の参加者の意見や考えを聞きたかったから	9	11.5%
④これまでにない取組で面白そうだったから	1	1.3%
⑤国、自治体の行うリスクコミュニケーションについて知りたかったから	9	11.5%
⑥その他	1	1.3%
無回答	12	15.4%
計	78	100.0%

②どの程度満足できるものでしたか？

回答内容	件数	割合
①十分満足	0	0.0%
②ほぼ満足	24	30.8%
③あまり満足できなかった	30	38.5%
④まったく満足できなかった	9	11.5%
⑤どちらでもない	4	5.1%
無回答	11	14.1%
計	78	100.0%

③ ③, ④, ⑤と答えた方に伺います。

満足できなかった点（具体的に）

安全前提ではダメです。危ないものは避けるのが前提。
安全であることを前提に話しているもので、安全かどうか分からないものについても安全であるような思い込みをさせているように思う。
根拠もなく安全と伝えようとする姿勢に疑問を感じました。
意見と回答が平行線で、どう判断したらいいか困った。
放射性物質をいくら体内に入れても健康には問題がないというような説明ばかりで腹立たしかった。
難しかった。
・意見交換の時間が短い。・国からデータに基づいた説明が多く、消費者の立場、子どもの親としての心配な点についてはあまり得られた点が少なかった。・日常使わない難しい言葉が多すぎて理解できなかった。
・質問できる機会を得られ、その点は評価できる。・ねらいはどこにあったのか？・積み上げて計算しても大丈夫という部分をもう少し教えてほしい。また、低線量被ばくをなるべく低下させるための情報提供をしてほしい。
質問者がかなり感情的で難しい話で理解できない部分があった。
原発の体制をノーと考えながら参加させてもらった私としては、明解とは思えなかった。
短時間での意見交換は不十分である。
安全という確信が得られなかった。
出席者からの意見、不安を十分に聞けなかった。
聴く側は素人。専門用語が多すぎる。くだけて話してほしい。資料の文字が小さい。
意見交換・質問に対して、真摯に、丁寧に答えるという姿勢がみられない。リスクコミュニケーション⇒納得できるように話し合うとレジュメにあるが、そもそもそんな姿勢に、答える二人が立っていない。
全体的に「安全である」というトーンでの説明であった。科学的客観的判断に基づくものだと思うが、今日の政府の姿勢を信頼できないので、誠に残念ながら、「本当だろうか？」と疑問符はとれない。
安全・安心の押しつけの場だったように思う。
数字だけの安全基準といっても一般人にはわかりづらい。言葉なども難しすぎる（例えばシーベルトなど）。
化学物質の数値等学術的過ぎて難しかった。しかし、子どもに対する健康への影響は大であることは理解できた。
話が難しかった。
専門家ではないので、言葉が難しく、一般の人にもわかりやすく、どれだけの食品を一日にとると身体にどれだけ影響するかとか……。もっと検査器具を市町村に配布してほしい。
目線が高くて
3.11とどのように変わったのか知りたかった。
国で調査するのは、今までのことがあるので、本当かな？と疑問が残る。
パンフレットを配布しているのですから、さらにスライドにして細かい説明はいらないと思う。時間のロス（大まかにかいつまんでも良いのでは）
事前に提出された質問の内容（分類）をパネル実施前に紹介してほしい。

専門的な用語すぎて、身近なことではなかった。
マイクロシーベルト、セシウム、モニタリングという言葉があまりにも耳になじめないことで、なかなか聞き入れることができませんでした。
難しい言葉が多く、もっとわかりやすくしてほしいと思った。

問3. 本日の意見交換会の形式についてどう思われますか？

回答内容	件数	割合
①評価する	10	12.8%
②まあまあ評価する	27	34.6%
③あまり評価しない	14	17.9%
④まったく評価しない	7	9.0%
無回答	20	25.6%
計	78	100.0%

理由

コミュニケーションになっていない。一方的であった。
コミュニケーションとは名ばかりで、リスク受忍説得の会。
安心・安全アピールばかりの説明で全く納得できなかった。
わかっているものと考えていたが、そうではなく難しいと思えた。
意見交換・質疑の時間が少ない。
放射能について感情的な批判があふれかえる現状で、一般参加形式の意見交換会を開催するのは勇気のいる決断だったと思う。
講義のみだと不安だったが、意見交換があったので。
国民から意見を聞き置くよという状況を作って、行政として役目を果たしたよと示しただけだ。
意見交換によって少しはわかったように思う。
コーディネーターと答弁者3人で勝手に進めているから。専門的なことは省いて〜と大したことを話さないなら、意味がないのでは。
政府主催、道主催などのこの手の交換会は、今の時点ではまゆつばである。「安全である」という情報が伝えられるほど、気持ちは冷ややかになる。行政サイドでない、民間や大学関係者からの同様のテーマで話を聞きたいものだ。
このような機会を設けたことに、まずは評価します。
国の都合のいい話にしか聞こえないです。
理解しやすかったです。
国がもっと真剣に取り組んで少しでも安全な食べ物を消費者の口に入れるよう努力してほしい。唯一北海道のものが安全というイメージをくずさないで！！
安全性を強調しているように聞こえた。リスクも説明していくべきだと思う。
一般の参加者の質問内容が専門的というか、片寄った考え方ではないか?消費者協会との内容のバランスがおかしい。
このような会は午前にはしていただきたい。何故なら午後だと居眠りをしている人も多々おり、体内のリズムでお昼寝をしたくなる時間帯です。
あらゆる面でリスクコミュニケーションは必要と考えるから、このような企画を実施されたのはいいこと。
意見交換が中途半端で終わった感じ。
全般の交換ではなくて、グループにした方がわかりやすいと思います。
国や自治体の取り組みを知る機会がない中で、色々情報が流れている状況でこのような機会もあっていいのではないかなと思う。特に道での取り組みが一部であるがわかりよい。
一般市民の方の考え方、感じ方を知る機会になった。
参加している側が本当に素人という感じで、話を分かっていると感じたので、もっとかみくだいて簡単なご説明をいただいた方が良かったのではないかと感じました。資料は難しいものをいただけるのはいいのですが。

問4. 意見交換会の進め方について、意見交換会の全体の印象を通じて感じた印象は？

i. 意見交換会の開催手続きは適切であった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	8	10.4%
②そう思う	39	50.6%
③あまりそう思わない	7	9.1%
④そう思わない	7	9.1%
無回答	16	20.8%
計	77	100.0%

ii. 話題提供（食品安全委員会）の説明はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	3	3.8%
②そう思う	23	29.5%
③あまりそう思わない	29	37.2%
④そう思わない	9	11.5%
無回答	14	17.9%
計	78	100.0%

iii. 話題提供（北海道）の説明はわかりやすかった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	4	5.1%
②そう思う	24	30.8%
③あまりそう思わない	27	34.6%
④そう思わない	11	14.1%
無回答	12	15.4%
計	78	100.0%

iv. 意見交換の進め方は良かった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	3	3.8%
②そう思う	29	37.2%
③あまりそう思わない	18	23.1%
④そう思わない	13	16.7%
無回答	15	19.2%
計	78	100.0%

v. 意見交換時に話題提供者や司会者は質問にきちんと回答していた

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	7	9.0%
②そう思う	32	41.0%
③あまりそう思わない	13	16.7%
④そう思わない	10	12.8%
無回答	16	20.5%
計	78	100.0%

vi. 食品中の放射性物質について参加する前に比べ理解が深まった

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	2	2.6%
②そう思う	30	38.5%
③あまりそう思わない	26	33.3%
④そう思わない	9	11.5%
無回答	11	14.1%
計	78	100.0%

vii. 自分の食生活に今回の意見交換会で知った内容はいかせる

回答内容	件数	割合
①たいへんそう思う	2	2.6%
②そう思う	30	38.5%
③あまりそう思わない	26	33.3%
④そう思わない	9	11.5%
無回答	11	14.1%
計	78	100.0%

問5. 本日の意見交換会について、ご意見や感想をお書き下さい

市民に対して安全性を押し付けているだけで、リスクを過小評価している。ベクレルをシーベルトで説明し、いかにも汚染が少なく見えるようにしている感じがする。
・何のための説明会なのかよくわからなかった。・一方的に安全を押し付ける会なら、必要ない。・食品検査数が少なすぎる。増やしてほしい。ストロンチウムも、プルトニウムも！
・聞いているのに、質問を途中で切るのは良くない。・不安が増した。・道は子どもの命を第一に考えていないと強く感じました。
リスクコミュニケーションではない。安全だという説明を一方的に受けて不快だった。市民としては全く納得できない。久保・得地は今すぐ今の役職をやめろ。
一部の質問する人の物言いが攻撃的で不快だった。
・人体に害する影響は短期間で理解・解明できない点がたくさんあります。・第一次産業の人は食品の出荷が制限されると生活が成り立たなくなります。食品の安全・安心のデータ（詳しい）の具体的な話を一般人にもわかりやすく話してほしい。
安全であるということばかりが印象にあり、残念ながら納得はできませんでした。
情報を隠している。
放射能、セシウムは心配ない、北海道も心配ないという風にだけ聞こえた。司会は消費者連合会であってほしかった。
専門語が多く出てきて、数値もそうですが、大変難しかった。一般主婦として関心はありましたが、もっと優しく説明してほしい。ちょっと聞き逃すとわからなかった。意見交換により、少し理解できたと思う。
・今日説明された内容は、通常ニュース・新聞をみていたらわかる程度。・男性、女性と質問が出ていたが、質問に対する答えをしない。意味がすり替わって答えられている。・こちらは素人かもしれないが、それでも、質問者が尋ねていることと違うことを答えている。だからみんな、首をかしげたり、納得せずに質問を終えるのだ。素人には説明できないというのなら、答えてくれる人を探して開催すべき。
本日のお話は、今年4月全国の小中高に配布された「放射線のはなし」文部科学省（副読本）を思い出すことになった。この副読本は放射線の有効性や安全性を強調し、危険性にはほとんど触れられておらず、問題が指摘されている。「安全だからそんなに心配しなくていいんだよ」ということを基準に、情報提供されているので、参加者の不安感が増々大きくなり、不満感の増加となったようだ。消費者協会懇談会が、行政の主催事業に乗るべきではなかった。今後の事業取組みについて一考を要す。
30年後のことを言われても理解できない！今の子どもたちの30年後を考えるとぞっとします。
子どもがいる親が放射性物質について強い関心があるのだと知りました。（自分はあまり関心がなかったので、驚きました。）専門的な言葉での質問がありましたが、聞いている周りの方にとっては何を言っているのかわからなかったと思います。ありがとうございました。
質問は一人一質問にしていきたい。
・食品安全委員会は科学で食品の安全について説明できる機関、今後も期待しています。・もっと早い時期に開催してほしい。・意見交換会の時間があまりにも少なすぎた。・放射線対策の情報について、生産者の取り組みについて報告があるとよい。
片寄った人の意見しか聞けなかった。
時間が足りなかったのか、早口でわかりづらかった部分があった。
やはり国に対する不信感がある。北海道は安全なところだ。
国の発表などはあまり信用できないと思う。得地氏、久保氏、両名はもっと高いレベルの話をして、勉強して参加してください。（今のような話は、本などで私たちは知識を持っていました。）
食品安全委員会の説明は難しく、理解しにくく思いました。
安全性については良くわからなくなっていました。
もう少し日常的な交換であってほしかったです。何かにつけて国のデータばかりで、生活にどう安全に過ごすことが大切かを教えていただいた方が助かります。（年齢にもあると思います。）
わかりづらいです。
国民は政府を信じられなくなってきました。今日のコーディネーター他の方もごまかそうとしているように思った。
今関心事のあることが、この様な短時間で理解を深めることは非常に無理があるのではないかと。特に、子育て中の方々にとっては、この様な機会をもっとされたいと思う（食を含め環境全体に安全、安心を求めたい）。基準値や検査について不満を持っている人が多いことを知り、今後に取り入れてほしい。
やはり放射能問題は難しいです。疫学データが少なく不安がある。新基準に対してもデータ不足の中で、絶対安心できる数値なのか？今回のお話で、ある程度食品中の放射性物質による影響は安心だとわかったが、絶対的ではなく、小さな子どものことが、不安だ。
食に関する……ということで身近なことではあるのだが、用語など専門的な部分が多く、難しかった。名寄の方の意見・感想に対して同調しました。一般の者にもっとわかりやすくしてほしい。

質問している側が全く分かっていないと感じました。専門家の方に答えていただいても、それが自分の質問に対する答えだということも理解していないようで、何度も同じことを言ったりして、さらには答えをいただいているのに、途中で「何度同じことを言っても無駄なので」といった感じで自分が理解できていないのに言ってやってみたいな感じで気分が悪かったです。私は特に人体への影響はないと思っているので。